

ガーナでそろばんプロジェクト70号(2018年 1月 3日)

★★ 新春号 おかげさまでそろばん教室は7年目に突入しました。★★

明けましておめでとございます。今年もどうぞよろしくお願
いいたします。新しい年のあいさつにふさわしくこの報告書もお
かげさまで70号となりました。先日、クリスマス会を行った日は
2500回目の開室でもありました。2500回は、そろばん教室を開
室してから7年目に突入する中、もしかしたら少ない回数なの
かもしれませんが、悩みながらも前へ前へと進んできた自信はあり
ます。またこうして前へ進んで来られたのも活動を支えてくださ
る方々がいるおかげです。本当にありがとうございます。これか
らも、ここガーナの地でそろばんに取り組むガーナの子どもたち
を温かく見守っていただけるとてもうれしいです。

さて、新しい年に入り昨年“来年6月までの目標”としてあげた
ものが達成されているのかをご報告させていただきます。ギディ
オンは暗算7級に合格して参考書を手にすることが出来ました。
コンスタントも珠算7級に合格して参考書を手にすることが出来
ました。これら参考書は先生さえも持っている人が少ない高価な
ものです。この参考書で高校受験に向けて頑張つて勉強してほ
しいなと強く思いました。

十二月のそろばん教室は、パトリックもスクールバケーション中
ということもあって通ってききました。パトリックの姿を見て思っ
たのが、こうしてスクールバケーションに村へ帰ってくるのなら、か
つてそろばん教室に通っていたデバイス、ブラザー、ギルバード、
クレナムが村に帰ってきている時だけでもいいので、マイそろばん
を持参して教室に来られないか?ということでした。一回だけクレ
ナムが来たことがあります。1回と言わず、村に滞在している間
は可能な限り来てもらいたいです。パトリックはコンスタントと
兄弟なので、そろばん教室の開室日はわかるけれど、そろばん教
室に通っている兄弟がいない子どもには開室日を知ることは難し
いです。高校の寄宿舎に入った子どもにも再び教室に通ってもら

ことも今後の課題として、また目標にしていきます。新しく通う子どもをどうすれ
ば作れるか?も課題ではありますが、そろばん教室は学びたいと思う子どもが自
らの思いで通う場所と考えている私は今の段階で良い考えが浮かばないのも事実で
す。教室の繁盛期でもあった2013年から2014年は多い時で十一人来ていた教
室は、今ではその半分にも満たない人数となりました。新規児童を入れた
ければという焦りもあります。この焦りは、教室に通って来る子どもの人数を尋ね
られた時に“そんなにしか居ないの?”という返事を恐れるなどの周りの反応を気に
してのことです。例えば一人になっても、学びたい思いで通って来る子どもがいる限り
教室は続ける。子どもたちが学びたいという思いで私を必要としている限りは続け
る。これは、活動していく中、数々のトラブルが起きる中、強く強く思ったことです。
この思いを大切にして、2018年も邁進していきます。

報告 TOSHIO



協賛



トモエそろばん様